

## 第5章 地域を支えるしくみづくり【ともにとりくむ】

### 第1節 地域（圏域）に合わせた取組を進めましょう

現在、市内には小学校区を基本単位に、26地区で地区福祉推進会が組織され、地域の特性を生かしたさまざまな活動を展開しています。活動目標は「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」であり、住民主体による身近な地域での支えあい、助け合い活動に取り組んでいます。

地区福祉推進会の構成も地域においてさまざまですが、地域福祉をともに進める大切なパートナーであり、これからも、高齢者や障害のある人やその家族等が、住み慣れた地域で安心して暮らせるようさまざまな事業を行っていきます。

また、本計画の策定に当たり、各地区では、地区福祉推進会を中心に、町内会、民生委員児童委員協議会、地域のボランティアなど、各種団体による「地域懇談会」を開催し、さまざまな意見や提案をいただきました。これらの意見を基に、各地区の今後5年間の福祉活動の指針を取りまとめ、地域とともに地域福祉の推進に積極的に取り組んでいきます。



鷹岡三世代交流まゆ玉づくり

## 5-① 地区福祉推進会の強化充実

【現 状】 地区福祉推進会は市内の26地区で組織され「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目的とし、地域の実情に合わせたさまざまな福祉活動を地域住民が主体となり取り組んでいます。

〈目標〉 地域のさまざまな関係機関や団体と連携を図り、より主体的な地域福祉活動の推進役として機能することを目指します。

- 《取組》・地区福祉推進会連絡会の強化充実
- ・地区福祉推進会連絡会のブロックを地域包括圏域に変更
  - ・地域福祉を担うリーダー養成さらには協力者の発掘及び育成
  - ・事業についてのアンケート等による住民ニーズの把握
  - ・地域福祉活動計画に沿った事業計画の策定
  - ・活動助成金の検討

| 取 組          | 28年             | 29年    | 30年                    | 31年   | 32年 |
|--------------|-----------------|--------|------------------------|-------|-----|
| 連絡会の強化充実     | 検 討             |        | 実 施                    |       |     |
| ブロック変更       | 見直し検討           | ブロック変更 | 新たなブロック単位での講演会、情報交換の実施 |       |     |
| リーダー等の育成     | 育成プログラム内容検討     |        | 各地区で段階的に導入             |       |     |
| ニーズ把握        | 調査・検討           |        | 見直し検討                  | 調査・実施 |     |
| 活動計画に沿った計画策定 | 各推進会ごと具体的な取組を実施 |        |                        |       |     |
| 助成金の検討       | 見直し検討           |        | 実 施                    |       |     |

## 5-② 各地区における取組



### 富士南地区

● H27.4.1 現在の地区データ ●

人口 16,829 人 (男 8,301 人・女 8,528 人)

世帯数 6,511 世帯 高齢化率 22.4%

昭和63年12月13日発足

#### 現状をみつめてみました

これまでにはひとり暮らし高齢者対象のふれあい昼食会の開催や子どもたちの登下校時の見守り活動等に主に取り組んできました。また、地域団体、小中学校及び福祉施設等が連携を図り、凧揚げ大会をはじめ三世代交流活動にも力を注いでいます。

#### 今の課題を考えてみました

地域福祉の担い手が年々高齢化しつつあり、その継承者が不足していることが大きな課題です。区長や民生委員児童委員といった地域団体と地区福祉推進会が一体となり、少子高齢社会に備える意味でも、地域での見守り活動を含めたなお一層の連携が必要と思われます。

#### こんな活動があったらいいな！



みんなで  
交流しあう活動

- ・子どもも参加できる
- ・高齢者も一緒にふれあう
- ・中学生にも役割を
- ・ふれあいいきいきサロンに子どもも参加



若い世代も  
関わる活動

- ・各区役員に若い世代を
- ・子ども会との協働企画



さりげない  
見守り活動

- ・見守りネットワーク
- ・ご近所福祉
- ・子育て相談の場

#### 具体的な取組

各世代のノウハウを  
活かした活動

学校行事と地域行事との  
調整を図る

活動に向けての  
実行委員会の組織化

班長をきっかけに  
地域活動を知る

班長を中心に  
各班の情報を把握

班長が各区における  
福祉活動の担い手に

見守り活動に向けた  
学習会の開催

対象者、協力者等の  
地域情報の収集

見守り活動実践に  
向けての検討

目指して  
いきます！

だれもが集まれる気軽な居場所があり、地域行事を楽しみながら  
身近でさりげない見守り活動にみんなで協力



富士見台オータムイン

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 6,744 人（男 3,251 人・女 3,493 人）  
 世帯数 2,719 世帯 高齢化率 27.5%

## 富士見台地区

平成元年5月18日発足

### 現状をみつめてみました

各種団体が連携し、プレイデー、オータム・イン、三世代輪投げ大会、ふれあい交流会、ふるさと伝承等、多世代で交流できる事業を盛んに行っています。また、小中学生を対象とした「ぼらんていあスクール」を毎年開催し、福祉の心を育てています。

### 今の課題を考えてみました

行事に出てこれない高齢者等の現状把握が難しく、普段からの交流やその拠点となる場所の確保が望まれます。また、行事の参加者が固定化していたり、役員のなり手が不足していることから、新たな人材の発掘・育成が必要と思われます。

### こんな活動があったらいいな！



地域ぐるみで  
交流しよう

- ・ふれあい・いきいきサロン間の交流
- ・集合住宅住民との交流
- ・子ども会と老人会との交流会
- ・学校との交流活動



さりげない  
見守りをしよう

- ・地域の子どもや高齢者の見守り活動
- ・ひとり暮らし高齢者へ配食
- ・行事以外のふれあいの場



地域の居場所を  
つくろう

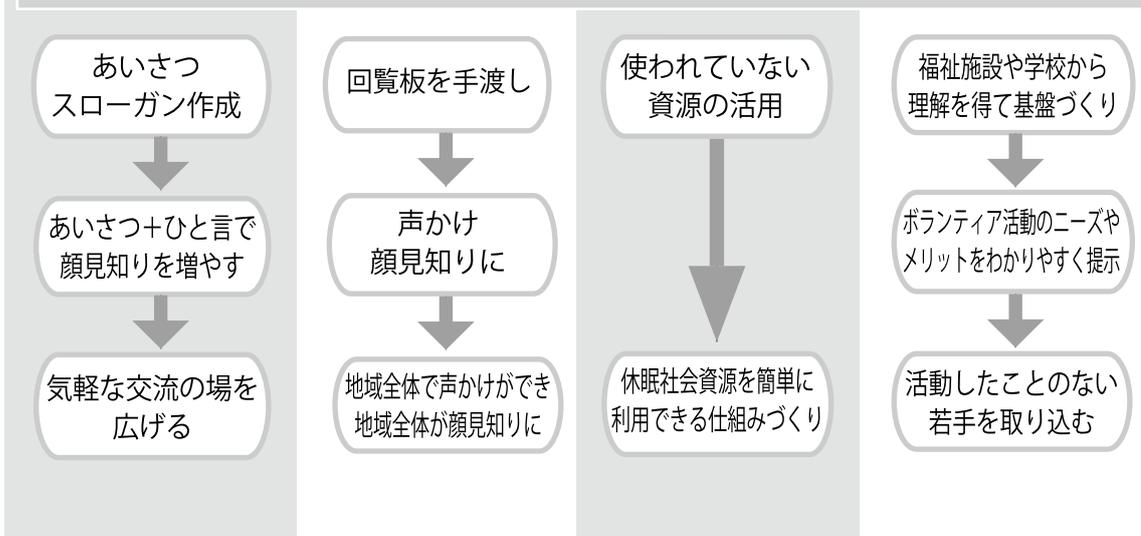
- ・常設の誰もが集える居場所づくり
- ・大型スーパー等を交流の拠点に
- ・気軽に集える地域の居酒屋や喫茶店等



幅広い人材を  
育成しよう

- ・元気なお年寄りによる地域ボランティア
- ・役員のOB・OG会を組織
- ・高校生・大学生や施設職員を巻き込む

### 具体的な取組



あいさつの声が響き、  
世代を超えたふれあいの場がある富士見台



● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 12,966 人 (男 6,415 人・女 6,551 人)  
 世帯数 5,258 世帯 高齢化率 25.2%

## 今泉地区

平成元年8月7日発足

### 現状をみつめてみました

「子どもたちとお年寄りを包み込む地域」を目指し、子ども対象の認知症サポーター養成講座や、高齢者の見守り「ご近所さんネット」を実施しています。また顔の見える関係づくりを進めるため、町内会単位の交流会や小学校の昔の遊び集会、保育園のふれあいレクリエーションも行っています。

### 今の課題を考えてみました

坂が多い地域で、移動手段のない方は行事に参加しにくい。顔見知りの関係を築いていくには、隣近所での交流を深めることが必要だと思われます。また、誰でも気軽に立ち寄ることのできる場所が少ないことから、ふれあい・いきいきサロンの増設や老若男女が集まれる居場所づくりが望まれます。

### こんな活動があったらいいな！



顔の見える  
関係をつくろう

- ・ながらボランティア、ながら見守り
- ・各組長がひとり暮らし高齢者宅を訪問
- ・行事への父親の参加



世代を越えて  
交流しよう

- ・子どもが参加しやすい行事
- ・親世代が仲間になる交流会
- ・みんなで草取りや苗植え
- ・地域の高齢者を講師に



だれもが気軽に  
集まれる場所

- ・障害者や認知症高齢者の寄り合い処
- ・男性サロン、子どもサロン
- ・さまざまな人が気軽に集まれる場所

### 具体的な取組

声をかけ合い  
行事に参加する

子どもから高齢者まで  
顔見知りになる

さりげなく  
ついでの見守り

高齢者から今泉地区の  
歴史や文化を学ぶ

今泉版かるたの作成

世代を超えて交流し  
顔見知りになる

居場所に関する  
アンケートを実施

身近な居場所となる  
拠点を探す

参加者やリーダーとなる  
人材を探す

目指して  
いきます！

子どもからお年寄りまで顔見知り 共に支えあう今泉



姫名の里まつり

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口7,678人（男3,819人・女3,859人）  
 世帯数2,954世帯 高齢化率26.0%

## 吉永地区

平成元年9月25日発足

### 現状をみつめてみました

愛の家庭訪問、ひとこえ会、あいあいネット登録カード推進等、各種団体と協力し、高齢者を対象とした見守り活動は市内でも先駆的に取り組んできました。近年、ふれあい歌声喫茶やミニ福祉体験など世代間交流活動に力を注いでいます。

### 今の課題を考えてみました

高齢者の増加に伴い、事業対象者の把握が困難になりつつあります。地域にもみんなで集まれる場所が少ないようです。公会堂や児童館など社会資源を有効活用しながら世代間交流事業を展開し、災害に強い地域づくりを進めます。

### こんな活動があったらいいな！



地域住民の住民による  
 住民のための  
 見守り活動

- ・小学生、中学生の見守り活動への参加
- ・見守り隊を新たに結成
- ・ベスト着用による見守り



みんなの居場所をつくり  
 世代間交流を図ろう

- ・気軽に集まれる食堂や居酒屋のような場所
- ・JA オアシス吉永、東部児童館、空き家の利用
- ・若年層との交流



みんなで作る災害に  
 強い地域

- ・防災訓練に親子で参加
- ・小学生や中学生が防災訓練へ積極的に参加
- ・向こう三軒両隣の関係の強固

### 具体的な取組

あいさつから  
 はじめよう

ゴミ集積場での  
 声かけ

地域での  
 見守り活動

地域の匠を発掘し  
 事業に協力してもらう

農業の匠と協力して  
 休耕地を活用する

育てた野菜で収穫祭を  
 開催し世代間交流を図る

まずは地域のことを知る

防災訓練に  
 子どもも参加する

向こう三軒両隣の  
 関係になる

目指して  
 いきます！

世代を問わず、会話が飛び交い、  
 楽しく住み続けることができる地域



## 天間地区

平成2年7月28日発足

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 6,681 人 (男 3,269 人・女 3,412 人)  
 世帯数 2,668 世帯 高齢化率 27.4%

### 現状をみつめてみました

天間地区を「梅の里」と名付け、子どもや高齢者、住民にやさしいまちを目指して、まちづくり協議会を中心に各種団体が協働して活動に取り組んでいます。福祉活動については、地区福祉推進会が主体となり、地域の伝統に根ざした事業をはじめ、子どもや高齢者に対する活動を進めています。

### 今の課題を考えてみました

子どもを含めた若い世代の団体や組織への加入が少なく、地域活動への理解と参加にも限りがあり、気軽に集える場所も身近に少なく、近所同士の交流が希薄になってきています。また行事や団体事業も一部住民のみの参加にとどまり、福祉活動への協力が得られにくくなっています。

### こんな活動があったらいいな！



子どもたちのパワーを活かして天間を元気に

- ・子どもの地域行事への参加
- ・地域の寺子屋
- ・学校と地域の連携、融合
- ・子どもの居場所づくり



気軽に集える場所を各地域につくろう

- ・高齢者と子どものふれあい
- ・気軽に集える場所づくり
- ・公会堂の開放
- ・特技を活かせる場所
- ・困り事への対応
- ・認知症への理解



地域の行事を盛り上げて世代交流を図ろう

- ・三世代交流事業
- ・年代別懇談会の開催
- ・行事の見直し
- ・多くの子どもが参加できる行事の開催

### 具体的な取組

子ども会をまちづくりの主役に！

子ども会との関わりと行事の検討

次世代を担う子どもたちを地域ぐるみで育む

身近な集える場所の発掘

各区（町内会）での取組内容の把握・調整

地域全体への呼びかけ・PR

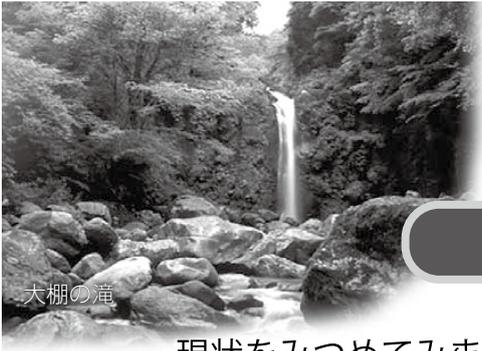
既存の行事や活動の洗い出し

事業の見直し・統合等

世代や団体を超えた事業のコラボ

目指して  
いきます！

地域の行事や集まりへの子ども・高齢者の参加、三世代の交流等により  
 向こう三軒両隣ご近所同士が互いに支えあう“安心安全なまち天間”



## 須津地区

平成4年2月25日発足

- H27.4.1 現在の地区データ ●
- 人口 11,481 人 (男 5,653 人・女 5,828 人)
- 世帯数 4,136 世帯 高齢化率 25.5%

### 現状をみつめてみました

須津川渓谷へのふれあい遠足をはじめとした地域の各行事にはあらゆる世代が参加し、交流を図っています。また、ひとり暮らし高齢者等への夕食サービスや子育て支援活動等を毎月定期的実施し、地域での見守り活動につなげています。

### 今の課題を考えてみました

少子高齢化が進行する中で、地域福祉活動にも多くの手助けが必要とされています。活動の主体は地域の民生委員児童委員とボランティアですが、今後は町内会長や福祉施設等の専門機関との連携や地域全体に広げていくことが必要です。

### こんな活動があったらいいな！



みんなですすめよう  
見守り活動！

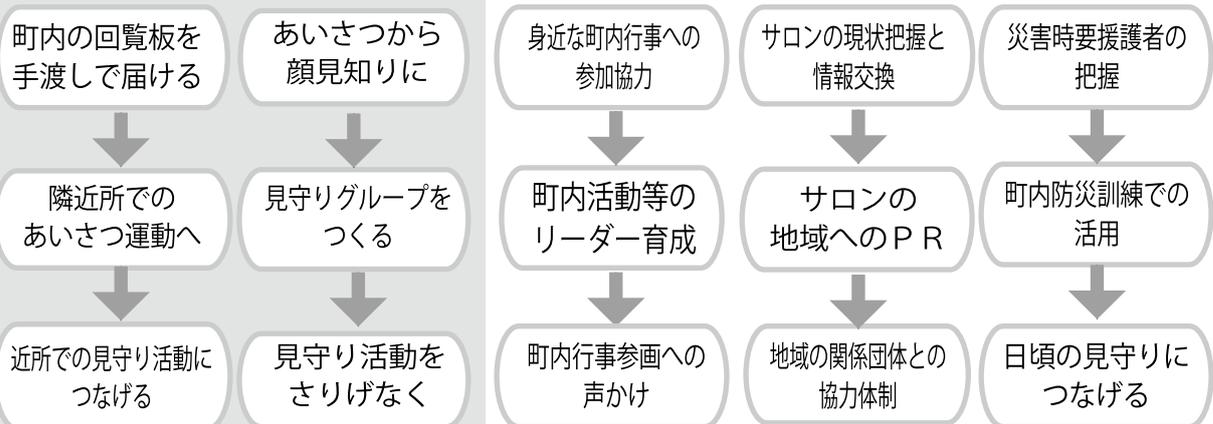
- ・夕食サービスに中学生も参加
- ・高齢者見守りボランティア
- ・買い物ボランティア



みんなで交わろう  
身近な地域で！

- ・ふれあい・いきいきサロンを各町内に設置
- ・ふれあい・いきいきサロンに子どもや若い人も参加
- ・お年寄りが気軽に集える場

### 具体的な取組



目指して  
いきます！

見守り活動をとおして、隣同士が絆を深め  
安心して暮らせるまちに



● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 9,977 人 (男 4,877 人・女 5,100 人)  
 世帯数 3,945 世帯 高齢化率 22.7%

## 岩松地区

平成5年3月2日発足

### 現状をみつめてみました

かりがね祭り、梅まつりという代表的な行事を、岩松北地区と協働で行っています。その中でもかりがね祭りでは、中学生ボランティアと一緒に募金活動やゴミバスターズ等の活動を実施し、交流を含めた福祉の心を育てています。各種団体の事業にも参加協力し、地域福祉活動の連携を図っています。

### 今の課題を考えてみました

高齢者の見守り活動が低下している現在、地域の協力者の確保、福祉人材の発掘等、支援者を増やしていくことや、地域に必要と思われる事業展開を行い、小さい単位から福祉の輪を広げていく必要があります。

### こんな活動があったらいいな！



高齢者ができる  
福祉活動の輪

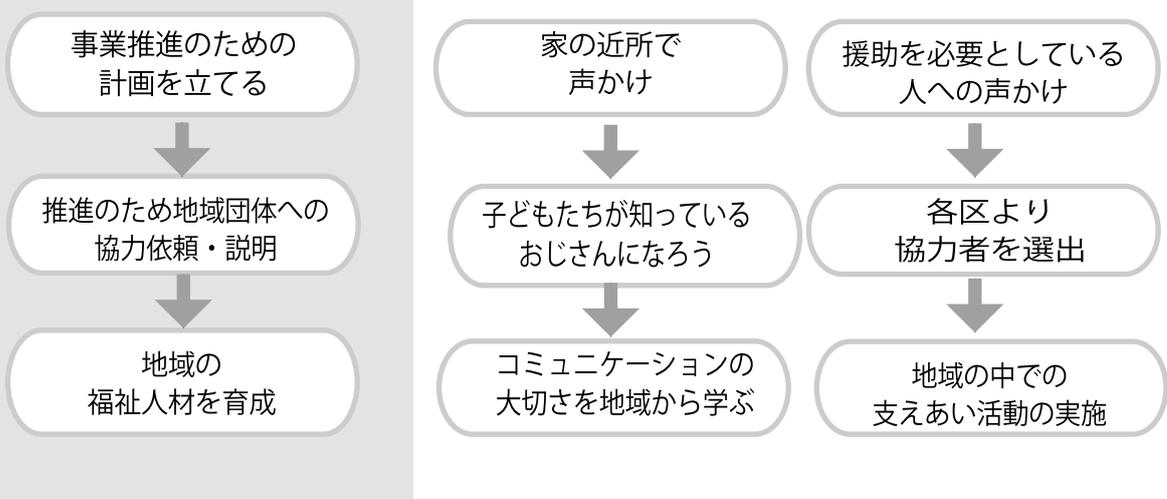
- ・高齢者世帯への訪問
- ・老人会の活性化
- ・寿会会員との食事会
- ・ひとり暮らし高齢者の食事会



ご近所・地域で福祉の輪を広げよう

- ・ご近所同士の花見会（春堀の後）
- ・ご近所同士の声かけ運動
- ・あいさつ運動の活性化

### 具体的な取組



目指して  
いきます！

昔のような近所付き合いができ、顔と顔を見て話せ、  
孤立させない地域に



● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 12,058 人 (男 5,947 人・女 6,111 人)  
 世帯数 5,196 世帯 高齢化率 22.4%

## 富士駅南地区

平成6年4月8日発足

### 現状をみつめてみました

各種団体が連携して「駅南福祉フェスティバル」を開催し、福祉体験を通じて地域住民に福祉への理解と広報啓発に力を入れています。また、区単位での見守り活動を実施するために「住民福祉ネットワーク」を構築し、地域に密着した福祉活動を行っています。

### 今の課題を考えてみました

近年、集合住宅が急増し、向こう三軒両隣の近所付き合いがだんだん希薄になってきているため、地域のつながりをより強めていく必要があります。また、だれもが日々の生活の中で、自然と見守りが出来るような活動の輪が広がっていく働きかけが必要と考えます。

### こんな活動があったらいいな！



みんなで出来る事から  
始めよう

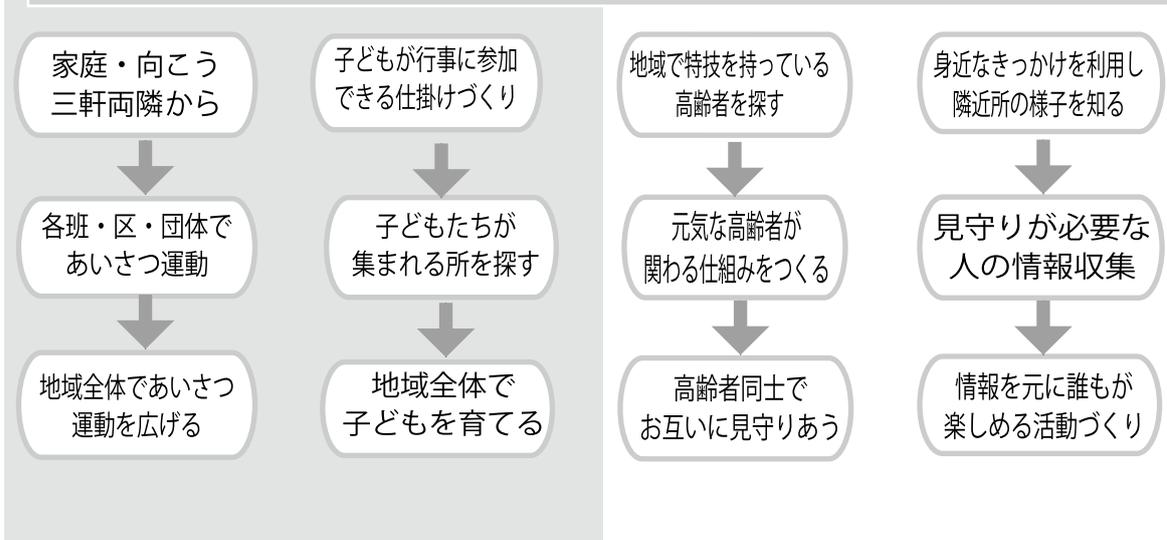
- ・あいさつから始めよう ・回覧板の手渡し
- ・高齢者の買い物、草取りの手伝い
- ・中高生も出来る事 ・住民アンケートの実施
- ・地域の歴史を伝える ・イベントへの参加



見守り活動を進めよう

- ・誕生日以外の日にも訪問
- ・高齢者との交流会 ・高齢者以外の見守り
- ・近所での話し相手 ・お茶会、食事会の実施
- ・ふれあい・いきいきサロン創設

### 具体的な取組



老若男女問わず、まずは出来ることからはじめていき  
 駅南地区全体が住民同士でつながり、地域の絆を深めていく!!



- H27.4.1 現在の地区データ ●
- 人口 13,152 人 (男 6,520 人・女 6,632 人)
- 世帯数 5,095 世帯 高齢化率 21.5%

## 丘地区

平成7年5月8日発足

### 現状をみつめてみました

丘地区では各種団体と連携して三世代交流を目的にした、三世代交流七夕まつりや年末におせち料理を届け、ひとり暮らし高齢者慰問を行っています。また、福祉施設の行事にも積極的に参加協力し、福祉活動の輪を広げています。

### 今の課題を考えてみました

団体ごとの活動に加えて、横のつながりの強化・連携をして地域全体で支えあう体制づくりをしていかなければなりません。また、子どもたちが活動し参加する場が少ないことから、地域で子どもたちを育てていくための働きかけが必要と思われます。

### こんな活動があったらいいな！



#### 地域全体で支えあおう

- ・民生委員児童委員と一緒に訪問、連絡会を実施
- ・班単位での見守り、声かけ
- ・ふれあい・いきいきサロンを全町内に設置
- ・高齢者、外国人たちとの交流
- ・夜間パトロールの活発化
- ・地区福祉推進会独自のイベントの企画



#### 地域全体で子どもを育てよう

- ・親からの虐待を見守る
- ・子育て支援（寺子屋、遊び場）
- ・子ども中心のイベント開催（子どもがもっと関われるように）
- ・子ども会との協力体制強化
- ・児童クラブの行事にもっと関わる

### 具体的な取組

見守り対象者の把握をする

情報交換活動の支援

地域での引継ぎの実施

班単位での小さな見守り活動

地域での協力関係強化

見守り活動の展開

まずは近所でのコミュニケーション

町内単位で気軽に楽しめる行事

町内単位の見守り充実

積極的に大人にも学校行事への参加

既存の行事にひと工夫

地域の中で子どもを育てる行事や活動の充実

目指して  
いきます！

子どもたちがのびのび成長できるように地域全体が家族のように見守り  
安全で住みよい笑顔いっぱいの健康長寿社会を目指していく！！



● H27.4.1 現在の地区データ ●

人口 1,768 人 (男 855 人・女 913 人)  
世帯数 577 世帯 高齢化率 28.5%

## 浮島地区

平成8年6月27日発足

### 現状をみつめてみました

高齢者の見守りや交流を目的にした声かけ訪問、ふれあい昼食会等の行事を行っています。また、地域全体で行う大きな行事である春山まつりや文化祭等では、飾りづくり等の準備段階から、子どもから高齢者まで各世代が関わっています。

### 今の課題を考えてみました

子どもから高齢者までみんなで参加する行事が多くあります。しかし、参加が困難な高齢者も増えており、交流が少しずつ薄れてきています。昔ながらの近所付き合いがまだ残る地域性をどのように生かせるかが課題です。

### こんな活動があったらいいな！



地域みんなでさりげない

見守りをしよう

- ・ 東小児童の見守りに地域の高齢者も参加
- ・ 認知症への理解
- ・ 寝たきり高齢者の支援



みんなが知り合い

集える場を広めよう

- ・ 高齢者以外でもおしゃべりやお茶ができる場所
- ・ ふれあい・いきいきサロンへの子どもの参加
- ・ 小・中・高校生との関わり
- ・ 空き家や休耕田の利用

### 具体的な取組

まずはひと声！  
あいさつは大人から



隣近所と  
顔見知りになる



ご近所での  
仲間づくり

隣近所での集まりを  
大切にする



楽しい活動、集える場所を  
知っていただく



小さな集える場所を  
たくさんつくる

目指して  
いきます！

ご近所付き合いの輪を広げ、地域全体が知り合いになろう  
地域みんながイキイキ暮らす浮島！



永明寺庭園

## 原田地区

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 6,981 人 (男 3,447 人・女 3,534 人)  
 世帯数 2,635 世帯 高齢化率 26.1%

平成8年8月21日発足

### 現状をみつめてみました

少子高齢化の波が確実に押し寄せている中、配食サービスや交流会等の高齢者対象の福祉活動を中心に実施しています。また、市民ふれあいバンク等の福祉施設との交流活動や原田公園まつり等の地域行事にも積極的に取り組んでいます。

### 今の課題を考えてみました

地域で三世代交流を図ることのできる「居場所」が少なく、高齢者と子どもの関係をさらに深める機会や場が求められています。これまで取り組んできた活動をより発展させ、学校や地域の福祉関係団体等が協力して進めていくことが課題です。

### こんな活動があったらいいな！



子どもたちも  
地域福祉活動に参加

- ・子どもとのふれあい行事
- ・小学生も介護サポーター
- ・子育て経験者の関わり
- ・小学生対象の勉強会



地域のだれもが  
気軽に集まれる場所

- ・ふれあいいきいきサロンを全町内に
- ・特技を生かした交流
- ・公会堂の活用
- ・高齢者が気軽に参加



地域での  
ふれあい交流活動

- ・各団体の情報共有
- ・多様なメンバー構成
- ・福祉施設団体との交流
- ・三世代交流

### 具体的な取組

地域と学校が  
連携を図る

子どもたちのために  
声かけ・あいさつを！

大人も子どもも一緒に  
地域の福祉活動に参加

班・組合・隣組の  
つながりをきっかけに

町内会での  
交流に発展

地域全体に広げよう

地域の情報を知ること  
知らせることから始めよう

協力者等の  
掘り起こしを

協力者を拡大、情報共有を  
図り、イベント実施へ

目指して  
いきます！

子どもからお年寄りまで、いつでもだれもが安心して集える場があり  
みんなの笑顔が行き交うまち



元吉原地区

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 8,322 人 (男 4,156 人・女 4,166 人)  
 世帯数 3,322 世帯 高齢化率 30.4%

## 元吉原地区

平成9年9月9日発足

### 現状をみつめてみました

高齢者の見守り活動として、ふれあい配食やふれあい昼食会を実施しています。小・中学生にはボランティアとして協力を仰ぎ、世代間交流も図っています。地域住民を対象とした講座や座談会等も実施し、福祉への理解を深める活動にも取り組んでいます。

### 今の課題を考えてみました

少子高齢化が進む中、家に引きこもりがちで高齢者も増え、「向こう三軒両隣」の関係が築きにくくなっています。また、これからの地域を担うべき若者の地元離れが進み、地域福祉行事の人材不足が深刻化しているため、人がたくさん集まり、交流が盛んな行事を展開させていく必要があります。

### こんな活動があったらいいな！



顔なじみの関係になり  
見守り活動をすすめよう！

- ・各世代の顔の見える関係づくり
- ・地域での声かけ
- ・ひとり暮らし高齢者への絵手紙慰問



だれとでも仲の良い街にし  
世代間交流をしよう！

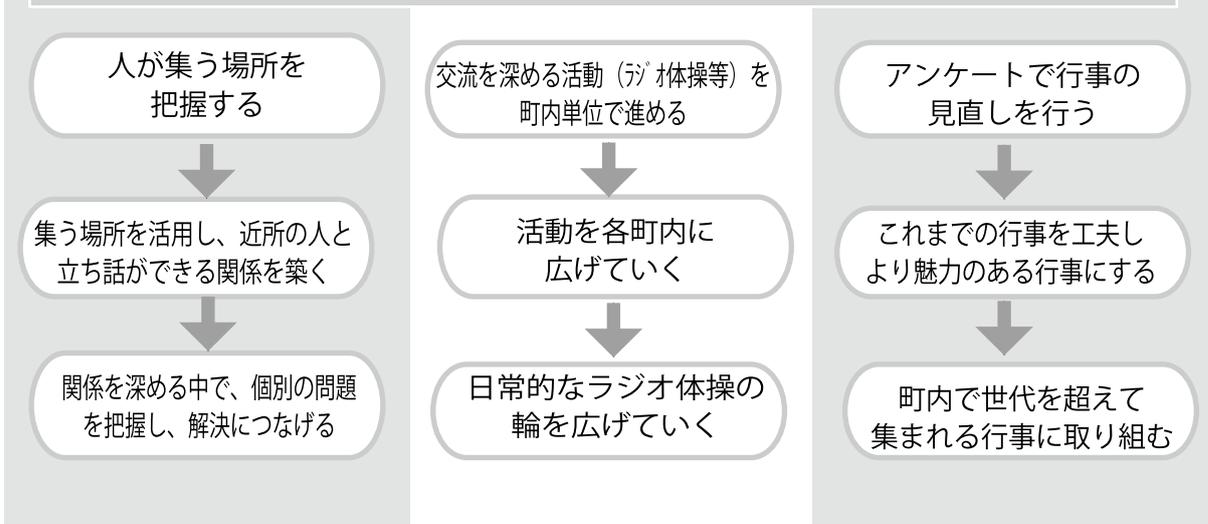
- ・高齢者から子どもたちが教わる講座
- ・三世代での話し合い
- ・まゆ玉作り、芋煮会等の行事



人が集まり、にぎわう  
行事を実現しよう！

- ・参加者を増やす広報の方法
- ・ボランティア活動の組織化
- ・町内で担当者を決定

### 具体的な取組



みんなが顔なじみになり、だれとでも仲良く、  
にぎわいのある健康な元吉原地区に！！



三世交代交流まゆ玉づくり

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 12,866 人 (男 6,317 人・女 6,549 人)  
 世帯数 4,961 世帯 高齢化率 27.6%

## 鷹岡地区

平成10年9月9日発足

### 現状をみつめてみました

高齢者、小学生の見守りや防災キット、黄色いたすきの活用等を通じ、顔の見える関係づくりを行っています。その他、防災訓練、各種まつり、町内会行事、まゆ玉づくり、ふれあい昼食会、どんど焼き、サロン活動、敬老会、鷹身工芸社の手伝い等を各団体や福祉施設等が協働で実施しています。

### 今の課題を考えてみました

見守りを行う上で、見守りの協働化や声かけの配慮、個人情報保護、対象者のニーズ把握などが課題です。各団体の世代交代、人材不足など福祉教育の推進、各種事業への参加協力、情報伝達、高齢者や子どもたちの交流や場所確保を行う必要もあります。

### こんな活動があったらいいな！



#### 見守り活動の推進

- ・ご近所での声かけ見守り
- ・区長、民生委員児童委員の関わり
- ・下校時見守り（散歩中に）
- ・家族の積極的な関わり



#### 各団体との協働

- ・防災勉強会開催
- ・まつりに中学生が参加
- ・行事の協働・共催



#### 気軽に集まれる場所

- ・ふれあい・いきいきサロンの活用
- ・公会堂カフェ
- ・世代間交流グラウンドゴルフ
- ・公園の活用

### 具体的な取組

見守り活動の  
内容検討

各種団体行事の  
見直し

まずは近所で  
あいさつを交わす

各種団体と  
協力をしていく

団体同士の  
情報交換

声かけ方法や  
場所の検討

見守り活動に  
関するマップづくり

団体の協働により誰もが  
参加できる行事の計画・開催

気軽に集まれる  
場所の実現

目指して  
いきます！

大人も子どもも高齢者も安心して暮らせる地域(行事を通じて顔見知りになるための)  
関係づくりを地域全体で協力し地域力を高めよう



三日市浅間神社

- H27.4.1 現在の地区データ ●
- 人口 12,557 人 (男 6,213 人・女 6,344 人)
- 世帯数 5,133 世帯 高齢化率 23.7%

## 伝法地区

平成11年2月22日発足

### 現状をみつめてみました

福祉活動として高齢者福祉だけでなく、障害者福祉活動に積極的に取り組んでおり、知的障害者と住民との料理教室を通じ、交流を図っています。また「ふれあい配食」「友愛訪問」など見守り活動を展開すると共に、中学生による福祉施設でのボランティア体験活動を継続しています。

### 今の課題を考えてみました

少子高齢化社会で、福祉活動の人材が少なくなることが懸念されますが、ふれあい・いきいきサロンの増設等により地域住民のボランティア活動の場を創出することが望まれます。また既存の防災訓練等を利用してのあいさつ・声かけ運動、三世代交流の推進が必要と考えられます。

### こんな活動があったらいいな！



高齢者と子ども達の  
きさくな交流

- ・ 高齢者と中学生の交流
- ・ 子どもと高齢者の交流
- ・ 高齢者の趣味をつくる会
- ・ 地域で特技を持っている方が子どもに伝承する



住み慣れた地域で安心して

- ・ わんわんパトロール
- ・ お互い行き来できる関係づくり
- ・ 黄色い布運動
- ・ 見守り、声かけ運動のPR
- ・ ふれあい・いきいきサロン活動

### 具体的な取組

高齢者のニーズを聞く

高齢者ができることを考える

高齢者と子どもたちが交流するための場の創出

防災訓練を利用した見守り活動を考える

あいさつ運動等の具体的活動を検討実施

ひとり暮らし高齢者への声かけ等更なる見守り運動の推進

サロンの活用を検討する

サロンの増設を目指す

サロンに子どもたちが参加できる環境をつくる

目指して  
いきます！

子どもから高齢者まで、  
みんなが笑顔で元気に暮らせるまち



富士本町軽トラ市

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 12,779 人 (男 6,429 人・女 6,350 人)  
 世帯数 5,593 世帯 高齢化率 21.8%

## 富士駅北地区

平成11年3月17日発足

### 現状をみつめてみました

子どもたちへのあいさつ活動や高齢者への見守り、地区内にある外国籍の子どもたちの学校(エコーラふじ)等との交流を行っています。ここ数年でふれあい・いきいきサロンも増えてきており、特に高齢者・児童福祉活動に力を入れています。

### 今の課題を考えてみました

地区内にはJR富士駅を中心とした商店街がありますが、大型店舗の撤退や空き店舗の増加により、中心部に高齢者世帯やひとり暮らし高齢者が増加しています。また、全体的に集合住宅が増え、近隣関係が疎遠となっていることから、地域行事の参加者が減少したり、役員の後継者が不足し、地域の各種団体の弱体化が懸念されています。

### こんな活動があったらいいな！

いつでもだれでも集まれる  
場所をつくり、  
孤立をなくそう

- ・ 話しやすい環境
- ・ みんなが気軽に集える場所
- ・ 気軽に相談できる場所



さりげない見守りを  
進めよう

- ・ 高齢者への声かけ訪問
- ・ 子ども達への登下校時のあいさつ、声かけ
- ・ 家にいる人が高齢者の見守り



地域で進める  
仲間づくりの場

- ・ 小中学生と高齢者の交流
- ・ 地域の名所等をウォーキング
- ・ だれもが健康でいられる取組

### 具体的な取組

気軽に集まれそうな  
場所探しをする

情報交換の場としての  
内容を話し合う

集まれる場所の  
PR活動を行う

近所でのあいさつ  
声かけからはじめる

見守りの意識、  
啓発を高める

見守りあう関係づくり

現在の事業や行事に  
付加価値をつける

行事や活動を通じて  
子どもたちの成長を  
促すような企画

みんなで考えた事業を  
継続し定着させる

目指して  
いきます！

世代を超えた支えあい活動の展開により  
だれもが安心して集える地域づくり



吉原祇園祭

- H27.4.1 現在の地区データ ●
- 人口 12,451 人 (男 6,153 人・女 6,298 人)
- 世帯数 5,505 世帯 高齢化率 27.0%

## 吉原地区

平成12年7月28日発足

### 現状をみつめてみました

「だれもが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」の実現に向けて、高齢者に対してはふれあい昼食会や絵手紙年賀状の送付等を実施しています。また、地域の福祉施設への支援や伝統行事を通じた子どもとの交流にも取り組んでいます。

### 今の課題を考えてみました

各種団体に共通した課題としては、一部の人の負担がかかりすぎたり、活動の多様化により役員のなり手が少ないという課題があげられます。また、商店街の空き店舗の問題や災害に備えた各団体の情報共有なども今後は必要と思われます。

### こんな活動があったらいいな！



気軽に集える場所を  
創造していこう

- ・世代を越えた交流の場に集まれる場を
- ・町内会の子ども達が気軽に集まれる場を
- ・各学校ごとに児童館のような場所を



世代を越えた交流を  
深めていこう

- ・地域を知ることから
- ・歴史と伝統、地域の人材を活かす
- ・商店街の活性化
- ・小・中・高校生から希望も積極的に聞く



万が一への備えを  
確立させていこう

- ・要援護者の情報を組長まで把握
- ・民生委員児童委員と防災会長の話し合いの場を
- ・防災訓練への中高生の積極的な参加

### 具体的な取組

花植え活動について  
関係団体との協議

地域に存在する公園やゴミ置き場の一角を利用して花壇づくり

高齢者と子どもたちの交流が図れる機会をつくる

「ひとこえ運動」をもっと知ってもらおう

「ひとこえ運動」を町内会に広めよう

学校を拠点に集まろう

まず関係団体を把握し話し合いの場をつくる

要援護者の情報を共有するため町内単位で話し合う

各町内の防災訓練のあり方を検討し、見直しを行う

目指して  
いきます！

花いっぱいみんなの笑顔いっぱいの吉原地区に



田子浦みなと祭り

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 14,759 人 (男 7,441 人・女 7,318 人)  
 世帯数 5,723 世帯 高齢化率 22.6%

## 田子浦地区

平成13年2月7日発足

### 現状をみつめてみました

田子の浦港とJR新富士駅を中心とした地域で、行事も港を利用した夏まつりやマラソン大会等を行っています。地域福祉活動は、高齢者を中心としたふれあい昼食会や配食会を区長会や子ども会等との連携を図り、顔の見える関係づくりのために力を入れています。

### 今の課題を考えてみました

高齢者が増加している中、気軽に交流できるような場所があまりなく、集合住宅等に住んでいる人が増え、住民同士の関わりが薄くなってきています。みんなが参加できる交流の場をつくり、子どもたちにも大人と同じように田子浦に住んでよかったと思われるような事業展開が望まれています。

### こんな活動があったらいいな！



地域全体でもっと  
楽しめるには

- ・町内会単位の交流
- ・三世代交流を図る
- ・休耕田活用（蓮華や馬鈴薯の栽培）
- ・婚活活動
- ・障害者との交流
- ・郷土を学ぶ（料理・歴史・昔遊び）
- ・避難所運営訓練の充実



世話焼きボランティア  
を探そう

- ・高齢者の居場所
- ・大人からのあいさつ運動
- ・地域ボランティアの発掘



子どもたちがすくすくと  
育つこと環境づくり

- ・遊び場マップの作成
- ・高齢者と子どもとのふれあい交流
- ・大人と小中学生の対決（碁・ツゲ-ム）

### 具体的な取組

幅広く声かけをする

参加しやすい  
環境づくり

あらゆる世代が群れて  
(集まって) 活動する

福祉推進会で  
内容を検討する

世話焼きボランティアを  
募集する

取り組める  
区から始めよう

地域で昔遊びの  
PR活動をする

公園で昔遊びの達人と  
子どもたちが遊ぶ

世代問わず交流を通じて  
仲良しになる

目指して  
いきます！

ここに住むすべての人が、年齢を問わず行事に参加して  
明るく、活発な人付き合いのできる田子浦地区に…



## 岩松北地区

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 10,056 人 (男 4,857 人・女 5,199 人)  
 世帯数 3,794 世帯 高齢化率 21.5%

平成13年5月30日発足

### 現状をみつめてみました

岩松地区と連携を図りながら梅まつりやかりがね祭り等を実施しています。まちづくり協議会をはじめ、各団体が協力しまつりを盛り上げています。地域福祉活動としては、梅まつりでの福祉バスの運行やふれあい昼食会、お飾りづくり及びもちつき大会等の事業を展開しています。

### 今の課題を考えてみました

地域福祉活動への協力者を広げるため、より多くの方に活動への参加を促すように努め、子どもから高齢者まで各世代の方々が参加し、魅力的な福祉活動を展開することが求められています。また、地域には、ふれあい・いきいきサロンや高齢者の集える場所を増やすことが課題です。

### こんな活動があったらいいな！



地域のつながりを深めよう

- ・各町内に福祉委員
- ・移動相談
- ・趣味を活かす
- ・障害者の地域参加及び交流
- ・区と区の交流



子どもたちとお年寄りの  
ふれあい

- ・児童クラブで昔遊びを指導
- ・高齢者の参加(学校や児童クラブ)



みんなが集まる場所

- ・ふれあい・いきいきサロンを活用
- ・地区の高齢者を歴史の語りべに
- ・見守り活動
- ・障害者の地域参加と交流の場

### 具体的な取組

福祉の人材や場所の  
情報収集

地域から福祉委員の  
選出について要望を聞く

身近な相談窓口  
としての活動

高齢者の集まる  
場所を知る

サロンや団体等の  
指導者の育成・発掘

子どもたちが  
サロンを訪問する

サロンを知ってもらう

サロンボランティア  
等の発掘

サロンの活性化から  
居場所づくりへ

目指して  
いきます！

子どもから高齢者まで気軽にあいさつを交わし  
だれもが福祉活動に参加できる環境を整備していく



青葉台小学校と富士山

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 8,615 人 (男 4,367 人・女 4,248 人)  
 世帯数 3,349 世帯 高齢化率 21.0%

## 青葉台地区

平成13年6月2日発足

### 現状をみつめてみました

「育み、ささえあい、集い住み住む青葉台地区」を目標に、地域住民間のふれあい交流、うたごえサロン等の居場所の提供、高齢者世帯への防災グッズ配布や環境美化活動を通じた児童への声かけ活動等、交流を通して日常的見守り活動が行われています。

### 今の課題を考えてみました

住民との交流が少ない高齢者や障害者、引きこもりの方や認知症の方等をさりげなく住民が見守っていくための方策を模索中です。また地域福祉活動への若年世代の参加が少なく、集合住宅も増えている中、どのように参画いただくか、検討する必要があります。

### こんな活動があったらいいな！



いつでも行ける  
居場所がほしい

- ・子育て中の親の情報交換ができる場がほしい
- ・障害者やその家族が楽しく過ごせる場が必要
- ・高齢者と子どもの交流の場
- ・情報提供
- ・特技を持つ人材の発掘



「ひとりぼっち」を  
減らすために

- ・趣味活動の機会を持つ
- ・子どもとの交流を増やす
- ・庭先や茶飲み話ができる環境をつくる
- ・知り合いになり声かけ



みんなが今以上に  
仲良くなるには

- ・住民間の気持ちの伝え合いを密にする
- ・地区の情報収集
- ・リーダー人材の発掘

### 具体的な取組

日常の心の通い合いを進める

玄関先で話せる  
関係をつくる

顔なじみの集まる  
場をつくる

顔見知りになるため  
自らあいさつ

顔見知りになった  
上で声かけ

相談相手に  
なれる人を探す

あいさつからの  
人間関係づくり

行事に参加しやすい  
雰囲気づくり

リーダーの人材発掘

目指して  
いきます！

困ったらすぐに相談でき、一人一人の心が安らかな  
気持ちになれる場所が、身近にある青葉台地区



今宮の火祭り

● H27.4.1 現在の地区データ ●

人口 3,782 人 (男 1,878 人・女 1,904 人)  
世帯数 1,311 世帯 高齢化率 23.9%

## 神戸地区

平成13年9月18日発足

### 現状をみつめてみました

昔からの付き合いが残っている地域であり、三世代の世帯も多く、各種団体の行事でも世代間交流事業が行われています。福祉活動においても、各町内会単位で実施している「ホッともっと広場」で高齢者と子どもたちとの交流を図り、顔の見える関係づくりや見守り活動につなげています。

### 今の課題を考えてみました

小さい地域のため役員等が重複している人が多く、つながりは強いと思われませんが、世代間を超えた交流ができにくくなっています。高齢化も少しずつ進んでおり、ふれあい・いきいきサロン等の集まれる場所が少ないことや見守り活動が薄れつつあることから、情報伝達や福祉活動への難しさがあります。

### こんな活動があったらいいな！



楽しく地域の行事に  
参加してみよう

- ・ 三世代交流 (子どもと高齢者の交流の場)
- ・ 文化伝承 (高齢者が子どもや若者に伝承)
- ・ 防災指導 (中高生に地域防災に関心を)
- ・ 介護予防教室
- ・ 男の料理教室



地域全体で顔の見える  
関係づくり

- ・ 登下校時の見守り活動の充実
- ・ 高齢者と子どもの相互見守り
- ・ 見守り方法の工夫
- ・ コンビニエンスストアの活用

### 具体的な取組

まずは近くから  
声かけ活動



今ある事業の  
充実を図る



とにもかくにも  
やってみよう

声かけ・あいさつをし、  
近所の人を覚える



行事に積極的に  
参加する



お互いに名前を  
呼び合える関係

目指して  
いきます！

大人から子どもまで普段から声をかけ、行事にも参加して  
「楽しかったね」と笑顔になれる神戸地区



広見福祉フェスティバル

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 11,481 人 (男 5,653 人・女 5,828 人)  
 世帯数 4,136 世帯 高齢化率 25.5%

## 広見地区

平成14年7月1日発足

### 現状をみつめてみました

地域福祉向上のため地区福祉推進会を中心に、まちづくり協議会をはじめ各団体との連携を図り、福祉フェスティバルやふれあい昼食会、広見小学校児童の見守り活動、ふれあい・いきいきサロン交流会等、地域に根ざした事業や活動を実践しています。

### 今の課題を考えてみました

現在、子どもから高齢者までを対象に幅広い福祉活動を展開しています。全ての地域住民が安心して暮らしやすい福祉のまちづくりをさらに進めるため、いろいろな世代がふれあいの中で、互いに見守り、子どもたちを地域で育むことが求められています。

### こんな活動があったらいいな！



みんなが暮らしやすいまち

- ・かけこみ 110 番の充実
- ・全ての人が見守り合う体制づくり
- ・地域のパトロール
- ・隣家との朝のあいさつ



さりげない見守り

- ・子どもの見守り
- ・ふれあい・いきいきサロンの充実
- ・ひとり暮らし高齢者のゴミ出しの手伝い
- ・空き家の利用



子どもたちを地域で育む

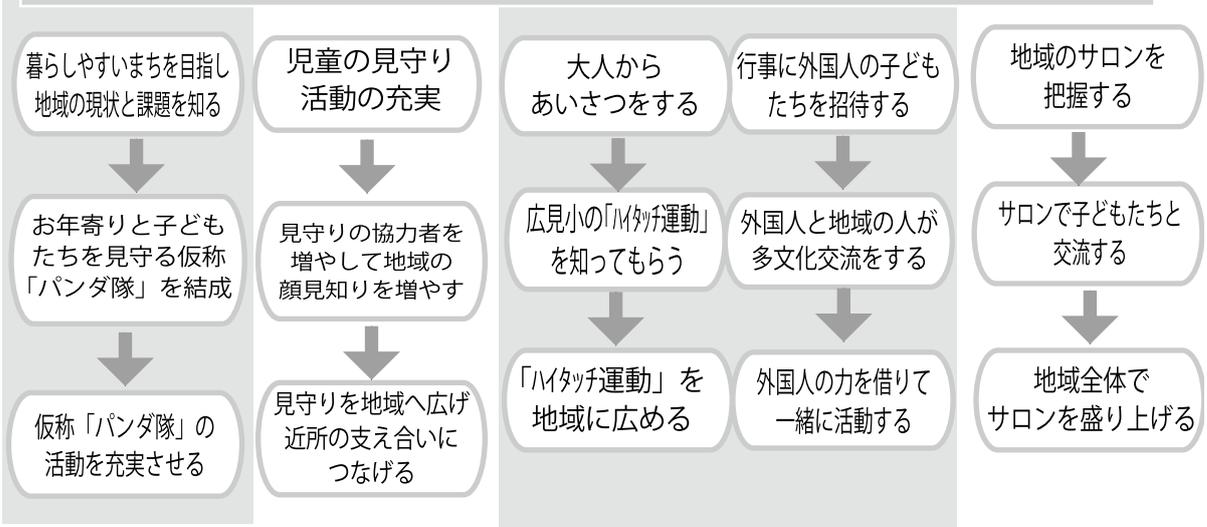
- ・どこでも「ハイタッチ」
- ・外国人の子どもたちとの交流
- ・敬老会で子どもたちとの交流
- ・障害児(者)との交流
- ・広見地区に育った誇り



いろいろな世代とのふれあい

- ・ふれあい・いきいきサロンを地域で盛り上げる
- ・高齢者世帯に子どもが立ち寄る
- ・町内単位でお花見会
- ・特技生かして指導

### 具体的な取組



目指して  
いきます！

広見地区で育った誇りを胸に、子どもからお年寄りまで「ふれあい」「絆」を深めた元気に集える福祉のまちづくり



● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 3,160 人 (男 1,534 人・女 1,626 人)  
 世帯数 1,184 世帯 高齢化率 25.1%

## 吉永北地区

平成15年5月14日発足

### 現状をみつめてみました

吉永北地区では各種団体が協力し合って福祉活動を進めています。小学生と一緒に手作りのお弁当をひとり暮らし高齢者宅等に届け、見守りの実施と交流を図っています。また、地域行事にも積極的に参加し、啓発活動をおこなっています。

### 今の課題を考えてみました

「見守る」「見守られる」の関係ではなく、日々の暮らしの中で互いのさりげない見守り体制が必要と考えられます。また、町内会単位でだれもが気軽に集まれる場所の設置が望まれます。さらに、地域住民みんなが活動に取り組むような働きかけが求められます。

### こんな活動があったらいいな！



みんなで一緒に地域活動に  
取り組もう

- ・全地域住民が町内会へ加入
- ・学生や若年層の地域行事への参加
- ・子どもに地域への愛着を



さりげない見守りを  
進めていこう

- ・下校時の見守り
- ・地域全体でパトロールを



だれでも気軽に  
寄れる場所をつくろう

- ・認知症の方のいる家族が集まれる場
- ・大人や子どもがゆっくり過ごせる場
- ・ふれあい・いきいきサロンで子どもと交流
- ・子どもたちの遊び場

### 具体的な取組

地域の核となる  
リーダーの発掘

地域の担い手の養成

担い手の継続支援  
新たな協力者の育成

顔見知りの  
関係になる

まずはご近所でのあいさつや  
名前呼びから始める

顔見知りになると行事参加率が  
上がり、見守りにつながる

居場所の運営主体を探す

定期的な  
居場所の開放

地域住民の  
交流の場に

目指して  
いきます！

気軽に出来る事を通じて、人と人との交流を地域全体で循環させ  
馴染みのもてる吉永北地区に！！



● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 8,408 人 (男 4,111 人・女 4,297 人)  
 世帯数 3,263 世帯 高齢化率 21.3%

## 富士北地区

平成16年4月16日発足

### 現状をみつめてみました

子どもから高齢者までの三世代交流を目的として、グラウンドゴルフや福祉映画会、北翔まつり等を実施しています。また、地域全体でひとり暮らし高齢者の見守り活動「声かけネット」を行っています。

### 今の課題を考えてみました

子どもと高齢者をつなぐ中間層に共働きの世代が増えていることから、交流が少なくなっています。また、既存の福祉活動は多くあるものの、地域全体にあまり浸透はしておらず、活動の参加者にも偏りが見られます。

### こんな活動があったらいいな！



世代間交流を  
活発にする活動

- ・昔遊び体験
- ・歴史ウォーク
- ・三世代交流事業を増やす



さりげない  
見守りの活動

- ・小中学校の登下校時の安全確保
- ・閉じこもりがちな高齢者に対してラジオ体操等への参加を呼び掛ける



若い世代も  
関わる活動

- ・若い世代との懇親会
- ・まつりや行事において若い世代が中心になる

### 具体的な取組

既存の交流事業を  
広く知らしめる

既存の事業に  
ひと工夫を加える

浸透するまで  
ねばり強く行動する

閉じこもりがちな  
高齢者を知る

見守り対象者の  
詳しい情報を収集

声かけネットの充実

隣近所の情報を知る

各地区での  
情報収集

広報活動の充実

目指して  
いきます！

子どもからお年寄りまで顔見知りの輪を広げる  
Face to Face 富士北！



● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 13,350 人 (男 6,668 人・女 6,682 人)  
 世帯数 5,032 世帯 高齢化率 28.0%

## 大淵地区

平成16年5月27日発足

### 現状をみつめてみました

福祉施設が多くある地区であり、小中学校を対象にした福祉教育には特に力を注いでいます。平成27年度からは県社協モデル事業の対象地区にも指定されています。ひとり暮らし高齢者を対象にした「こえかけ運動」にも取り組んでいます。

### 今の課題を考えてみました

高齢者の見守り活動や、世代間交流事業をさらに充実させたいと考えます。公共交通機関が不便である土地柄であり、行事の参加者が固定化されている問題もあるため、町内会単位での行事の開催も必要です。

### こんな活動があったらいいな！



#### 地域ぐるみの支え合い

- ・新聞配達員との連携
- ・昔ながらの井戸端会議
- ・小学校を中心として地域を巻き込んだ活用
- ・ひとり暮らしに対する隣近所による見守り



#### 地域で取り組む介護予防

- ・公会堂の有効活用
- ・地域の高齢者が気軽に集える行事の開催
- ・趣味を通じてつながれる機会の提供



#### 人と人とのつながり

- ・高齢者と児童の交流する機会
- ・隣近所との交流
- ・子どもや高齢者への支援活動

### 具体的な取組

地域の核となる人  
 行事の協力者の確保

横のつながりをつくる  
 メニューを用意

行事を通じての交流

地域で顔見知りの関係を築く  
 ため隣近所との交流を図る

様々な行事の  
 リーダーとなる人材育成

公会堂などの社会的  
 資源を活用し行事を開催

みんなが集える  
 場所の確保

あらゆる世代の  
 協力者を増やす

各地域で拠点となる場所を  
 つくり、活動を始める

目指して  
 いきます！

地域のだれもが気軽に集える公会堂を中心に、世代間交流を活発に行い  
 健康寿命を延ばすことができる地域



● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 9,091 人 (男 4,451 人・女 4,640 人)  
 世帯数 3,480 世帯 高齢化率 32.1%

## 富士川地区

平成21年5月26日発足

### 現状をみつめてみました

地区内の5つの支部を核として、ふれあい・いきいきサロン等が各支部の実情に合わせた形で活動を展開しています。各支部は町内ごとに選出され、組織化されている福祉委員によって、よりきめ細やかな事業を展開しています。

### 今の課題を考えてみました

子どもから高齢者までを対象として、特定の人たちだけではなく様々な人が日常的に参加しやすい活動をお互いに声を掛け合うことで地域全体に展開することが求められています。組織の固定化を防ぐためにも、一緒に動ける人材を幅広い年代から募っていく必要があります。

### こんな活動があったらいいな！



参加しやすい環境をつくり  
意識の高揚を図ろう

- ・富士川地区声かけネットワーク
- ・地域での協働作業
- ・子どもがリーダーシップをとれる活動
- ・ふじばら作業所と地域の人とのつながり



みんなで声を掛け合う  
地域づくりをしよう

- ・高齢者への声かけ訪問
- ・子どもたちとあいさつ
- ・誰がどこに住んでいるか分かるような仕組み
- ・区と子ども会の交流
- ・人が集まる場所づくり



動ける人（仲間）を増やそう

- ・活動的な団体
- ・人材育成の場
- ・「人」若い世代から高齢者まで
- ・地区への転入者増

### 具体的な取組

地域に住んでいる  
住民の把握

散歩しながら  
声をかける

行事の参加を呼びかける  
福祉委員に誘い協力者を増やす

区に関わる方々の総会参加へ  
呼びかけ（区長を中心に）

各種団体の活動内容の  
情報共有

各種団体との  
横の連携の構築

若い世代が参加できる  
機会を増やす

若年層の  
指導者を育成

指導者が中心になり  
地域を引っ張る

目指して  
いきます！

各団体がお互いを知りあい、子どもから高齢者までみんながつながりを持つことで、笑顔で楽しく暮らせる地域に



富士川と蓬萊橋

● H27.4.1 現在の地区データ ●  
 人口 7,296 人 (男 3,556 人・女 3,740 人)  
 世帯数 2,746 世帯 高齢化率 28.4%

## 松野地区

平成21年5月30日発足

### 現状をみつめてみました

地区住民から選出される福祉委員育成のため、年間を通じて研修を実施しています。その福祉委員が9区の福祉活動にも関わり、それぞれの地域特性を活かした小地域活動を展開しています。

### 今の課題を考えてみました

市内でも高齢化率が高いため、ふれあい・いきいきサロンのような居場所づくりと同時に、健康寿命を維持していく活動を推進していくことが急務となっています。また、任期を終えた福祉委員が継続して、地域のアンテナ役として活動に参加していただける仕組みづくりが必要です。

### こんな活動があったらいいな！



#### 進む高齢対策

- ・ふれあい・いきいきサロンの充実と指導者育成
- ・松野歴史かるたを活用した健康維持の活動
- ・災害緊急支援情報キットの普及と見守り
- ・認知症に対する正しい理解を



#### 9区の福祉活動の充実

- ・松野歴史かるたの活用
- ・休耕田を活用した世代間交流
- ・あいさつ運動と見守り
- ・親子で参加できる活動

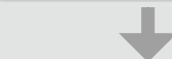


#### 気軽に集まれる場所

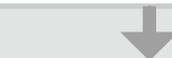
- ・ふれあい・いきいきサロンの充実
- ・身近なところで高齢者や子どもの居場所づくり

### 具体的な取組

健康体操・食育などの指導者育成



活動の仕掛けづくり



健康体操・食育などの普及啓発

身近なところであいさつ運動



リーダーとなる人材育成・発掘



地域の特性を活かした交流事業

地域行事できっかけづくり



縁側カフェ等を地域に開設



気軽に集まれる場所を身近に

目指して  
いきます！

身近な居場所で健康寿命を延ばす活動と、9区の特性を活かした福祉活動を継続し、いつまでも住みよい松野を目指します